やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員

いつわ清隆だより 第80号

令和４年４月　発行責任者：五輪　清隆　編集責任者：福田　剛　長崎市水の浦１の１　TEL861-6032

桜の花も満開に咲きそろい、爽やかな季節となりましたが、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお喜び申し上げます。

「コロナの収束で一日でも早い日常生活を迎えよう

二年前から続く「新型コロナウイルス感染症」は、いまだ収束の気配をみせず、私たちのまち長崎においても、市民の皆さんに大きな不安を与え続けて社会経済活動に著しく停滞をもたらしています。

長崎市内では、３月６日に第６波による「まん延防止策」は解除されましたが、まだまだ陽性者は高止まりの状況が続いています。

そのような中、小中高学校では昨年に引き続き卒業式・入学式等が縮小しての開催、各種行事の延期・中止もあっておりますので油断せずに日常活動に取り組まなければなりません。

「令和4年度一般会計予算」に賛成討論を行う（3月11日）

長崎のまちは大きな進化

長崎のまちは１００年に一度とも言える大きな進化の時期を迎えています。

昨年の出島メッセ長崎に続き、今年の秋には西九州新幹線が開業し、来年１月４日には新市庁舎が開庁します。

さらに、これからの数年は、長崎スタジアムシティプロジェクトや新長崎駅ビルの建設など民間事業者による大型事業が進むなど、まちの機能が益々充実して行きます。

厳しい財政でも市民サービスは低下させない

長崎市の財政状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、歳出面では保健・医療体制の充実や経済対策などに財政需要が増加し、歳入面では経済活動の停滞による市税などの減収に加え、人口減少に伴う地方交付税の減収などが見込まれることから多額の収支不足が懸念され、厳しい財政運営が続くことが見込まれています。

このような中で、将来にわたり持続可能な財政運営を行っていくために、新たな自主財源の確保や行政サービスの規模の最適化、デジタル化の推進による業務の効率化などにより、歳入・歳出の収支ギャップに対応しなければなりません。

令和４年度予算に賛成討論を行いました

今議会で議会軽視と捉えられる議案がありましたので議会最終日に令和４年度予算に対して意見と付けて賛成討論を行いました。

議会・議員は行政のチェックを行うと共に、行政に対して提言を行わなければなりません、その為にも議員自身が自己研鑽しなければなりませんので、私も行政課題・市民の声を市政反映して行きますので、ご指導のほどよろしくお願いします。

長崎市議会議員　五輪　清隆

恐竜パーククルーズ実証実験を行う！

私は、昨年２月定例議会において会派の代表質問でその年の10月29日、野母崎町に長崎恐竜パークが供用開始されるが、現地に行くには国道４９９号線だけしかなく交通事故が発生したら渋滞になるので陸路だけではなく、長崎港から端島（軍艦島）経由で恐竜パークへの輸送も観光客誘致へつながるので、海を使った集客ルートや観光ルートを検討するよう要望を行っていましたが、今年度の新規事業として「恐竜パーククルーズ実証実験」として実施されることになりました。

〈恐竜パーククルーズ実証実験〉

長崎のもざき恐竜パークの航路について、魅力創造と誘客の実証実験を行う。

(1)実施内容

長崎港から野母漁港までのクルーズ事業を民間事業者主体で実施できるよう、航路の魅力造成、体制整備、運行面及び収支面を確認するための実証実験を行う。

(2)実施主体：長崎半島活性化協議会及び民間クルーズ事業者

(3)経　費：１００万円

令和４年　会派別委員会名簿〔◎：委員長　○：副委員長　五十音順　令和４年３月11日〕

委員会名（定数）	会派名（議員数）	市民クラブ（9）	自民創生（9）	明政クラブ（8）	公明党（6）	令和長崎（4）	日本共産党（3）	憲政会（1）
常任委員会	総務（10人）	井上　重久 西田みのぶ	奥村　修計 深堀　義昭 （議　長）	佐藤　正洋 ○土屋　美紀	永尾　春文 ◎林　広文	幸　大助	内田　隆英	
	教育厚生（10人）	池田　章子 ○山谷よしひろ	岩永　敏博 柿田　正	◎岩永　福子 武次　良治 （副議長）	福澤　照充	平野　剛	大石ふみき	浅田　五郎
	環境経済（10人）	五輪　清隆 ◎木森　俊也 野口　達也	梅元　建治 ○竹田　雄亮	毎熊　政直 山口まさよし	久　八寸志	東　竜也	中西　敦信	
	建設水道（10人）	梅原　和喜 中里　泰則	相川　和彦 ◎山﨑　猛 吉原　孝	筒井　正興 中村　俊介	向山　宗子 山本　信幸	○平　たけし		
議会運営（7人）		梅原　和喜 ◎中里　泰則	○柿田　正 吉原　孝	山口まさよし	永尾　春文	幸　大助		
特別委員会	ゼロカーボンシティ長崎推進（10人）	池田　章子 ◎西田みのぶ	竹田　雄亮 山﨑　猛	岩永　福子 筒井　正興	○福澤　照充 山本　信幸	平野　剛	中西　敦信	
	ポストコロナ経済対策（10人）	五輪　清隆 ○山谷よしひろ	岩永　敏博 ◎梅元　建治	佐藤　正洋 中村　俊介	久　八寸志	平　たけし	内田　隆英	浅田　五郎
	観光客誘致・受入対策（11人）	井上　重久 木森　俊也 野口　達也	○相川　和彦 奥村　修計	◎土屋　美紀 毎熊　政直	林　広文 向山　宗子	東　竜也	大石ふみき	

いつわ清隆の主な役職

【議会】
- 環境経済委員会委員
- ポストコロナ経済対策特別委員会
- 長崎市議会核兵器廃絶議員連盟会長
- 長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟副会長

【行政】
- 長崎市行政改革審議会委員

【地域】
- 女の都自治会会長
- 西浦上東部地区自治連合会副会長
- 女の都地区青少年育成協議会顧問
- 長崎市消防団第三分団後援会副会長
- 長崎市社会福祉協議会西浦上東部支部副支部長

【その他】
- 長崎市ボウリング協会会長
- 瓊浦高等学校評議員
- 国民民主党長崎県連副代表

ご相談はお気軽に！

長崎市女の都1丁目1444-13
自宅☎(844)9599
生活相談室☎(828)7422

ホームページアドレス　http://www.k-itsuwa.com/

令和4年2月議会

令和4年度一般会計予算（総額約2167億円）条例案・人事案など48件を可決・同意！

令和4年第1回長崎市議会定例会は、2月21日(月)から3月11日(金)までの日程で開催されました。

令和4年度一般会計当初予算案では、「新型コロナウイルス感染対策」「新庁舎建設工事費」「人口減少対策事業」など総額約2167億円が可決されました。

条例改正案・人事案など48件が可決・同意されました。

又、特別委員会は「ゼロカーボンシティ長崎推進」「ポストコロナ経済対策」「観光客誘致・受入対策」の3特別委員会に所属しました。常任委員会は「環境経済委員会」所属になりました。

又、議会提案では「ロシアによるウクライナ侵略に対し厳重に抗議する決議」について全会一致で議決後に関係先に要請しました。

議会最終日に井上重久議長・岩永敏博副議長より辞職願が提出され、選挙の結果、議長に深堀義昭議員・副議長に武次良治議員が選出されました。

主な予算の内容

◆観光施設整備事業費
総合観光案内所
…3，600万円

令和4年秋に予定している九州新幹線長崎駅舎の開業に合わせ、新駅舎改札口に長崎市総合観光案内所を整備する。

◆企業立地推進費
…3億8，906万4千円

地域経済の活性化及び雇用機会の拡大に資する企業立地を促進するため、必要な奨励措置を講ずるとともに、長崎県産業振興財団への職員派遣や情報交換会などを行うことにより、積極的な企業誘致活動を展開する。

◆ながさきウェルカム推進費
…6，668万8千円

移住の専任組織、相談窓口を設置し、移住の相談件数及び移住者数は年々増加傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に地方移住の関心が高まっており、テレワークを経験し、柔軟で多様な働き方が大企業を中心に広まっている。この機を捉えて、さらなる移住者を獲得するため、徹底した移住のサポートを行う。

◆新規就農者育成総合対策事業費……612万5千円

「農業次世代人材投資事業」の後継として新たに新設される50歳未満の新規就農者に対する資金面や経営発展への支援を行う事業の活用により、次世代を担う農業者の育成・確保につなげるもの。

◆中高年新規就農者給付金事業費……520万円

農業次世代人材投資金交付金の対象とならない中高年層（50歳以上）の就農意欲の喚起と就農の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の経費の負担を軽減するため、給付金の交付を行うもの。

◆有害鳥獣対策費
…1億1，115万1千円

イノシシ・シカ等有害鳥獣による農業及び生活環境への被害対策として、「防護」「棲み分け」「捕獲」の3対策を、地域ぐるみの取組みを推進しながら関係機関と連携し行っている。なお、被害相談件数の増加に伴い、特に防護対策の充実を図る。

（拡大内容）市街地全体を守る包括的な視点から、新設市道を活用した広域防護の設置を進め、被害減少の有効性を検証する。

◆新東工場建設事業費（ごみ焼却施設建設）
…194億8，000万円

新東工場の令和8年4月の供用開始を目標に、ごみの適正処理を行うとともに、ごみ焼却処理の過程で発生するエネルギーの有効活用を図ることで二酸化炭素（CO_2）を削減し、地球温暖化防止へ貢献できる施設として、東工場の建て替えを計画する。

事業期間：令和4年～令和7年

◆ながさき住みよ家リフォーム補助金…8，128万8千円

住宅の居住環境改善や市内の若手技能者の育成と技術の継承を目的として、市内に本社がある法人等に発注する住宅リフォーム工事に要する費用の一部助成をすることで、感染症対策を見据えた非接触型社会への環境整備（自動水栓、通風式玄関ドアなど）を進める。

◆行政提案型協働事業高齢者等ごみ出し支援費…95万1千円

福田小学校区コミュニティ連絡協議会と協働を行い、福田小学校区（大浜町、小浦町、福田本町、小江町）において、協議会の選任した支援員が利用者宅までごみの戸別収集を行い最寄りのごみステーションに排出し、併せて希望者には声かけによる安否確認を行う。

協働事業をとおして、ごみ出し支援を必要とする方が居住する地域自体に対応してもらうモデル事業として実施し、市全体へ拡大できるか検証を行う。

◆児童福祉等施設整備事業費
子育て支援センター（江平・山里区域）
…（R4）6，500万円

子育て支援センター未設置区域である「江平・山里区域」に子育て支援センターを新設するため、整備工事を行うもの。

設置場所：里中野郷会館跡（天主公園横）

構造・延床面積：鉄骨造平家建 約100㎡

◆児童福祉等施設整備事業費
子育て支援センター（淵・緑が丘区域）
…2，200万円

淵・緑が丘区域にある緑が丘地区子育て支援センター「ピクニック」は、旧図書センターの建物内に設置しているが、老朽化が進んでおり、新たな場所に移転する必要があるため、長崎市公共施設マネジメント計画において、区域内で機能を確保することとしていることから、市の既存施設を活用し、地域の意向も確認したうえで、利便性のよい場所である「ブリックホール1階の旧レストラン」に移転するもの。

◆民間保育所等新型コロナウイルス感染症対策費（民間保育所、認定こども園、小規模保育事業所、病児病後児保育施設、認可外保育施設）
…（R3）8，248万1千円
…（R4）1億7，244万6千円
（うち、拡大分8，000万4千円）

新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、病児保育施設において、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品等を購入するとともに、民間保育所等に対して、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品等の購入費用を補助する。

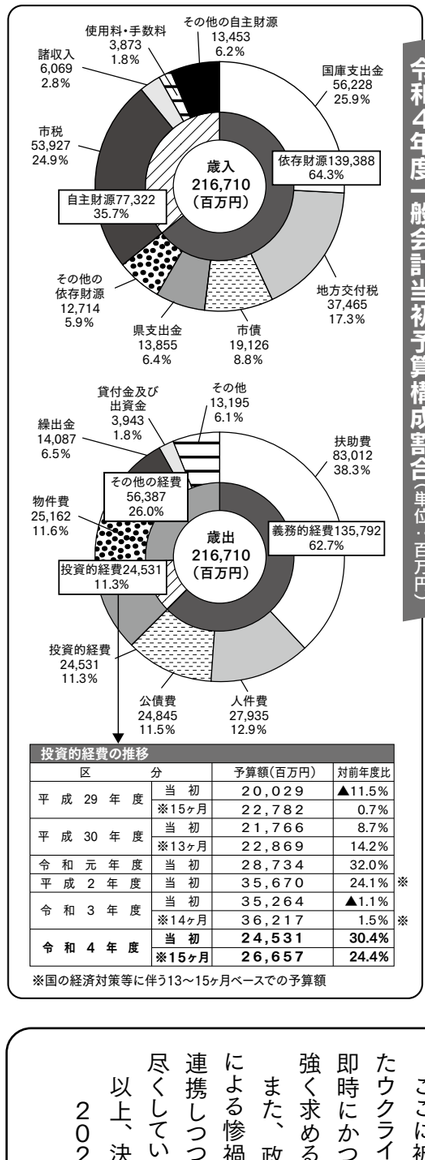
併せて、病児保育施設において、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくとともに、民間保育所等に対して、同様に事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。

（拡大分）感染症対策のための改修（トイレ、非接触型の蛇口の設置等）にかかる費用を補助する。

◆保育士等処遇改善臨時特例事業費
…2億8，357万6千円

新型コロナウイルス感染症への対応と子どもへの対応が重なる教育・保育現場等の最前線において働く職員の処遇の改善のため、特定教育・保育施設、特定地域型保育事業所、放課後児童クラブ、母子生活支援施設に勤務する職員を対象に、令和4年4月から9月までの収入を3％程度（月額9，000円）引き上げるための措置にかかる費用を補助する。

令和4年度一般会計当初予算構成割合（単位：百万円）



投資的経費の推移

区分		予算額（百万円）	対前年度比
平成29年度	当初	20,029	▲11.5%
	※15ヶ月	22,782	0.7%
平成30年度	当初	21,766	8.7%
	※13ヶ月	22,869	14.2%
令和元年度	当初	28,734	32.0%
平成2年度	当初	35,670	24.1% ※
令和3年度	当初	35,264	▲1.1%
	※14ヶ月	36,217	1.5% ※
令和4年度	**当初**	**24,531**	**30.4%**
	※15ヶ月	**26,657**	**24.4%**

※国の経済対策等に伴う13～15ヶ月ベースでの予算額

ロシアによるウクライナ侵略に対し厳重に抗議する決議

ロシアによるウクライナへの侵略は、国際社会の秩序を失わせ、世界の平和と安全を著しく脅かす、明らかに国連憲章に違反した暴挙である。

プーチン大統領は、ウクライナへの軍事侵攻に際した演説において、核兵器の使用を示唆する発言をした。

核の威力を背景に威嚇し、武力によりウクライナを侵略しようとするロシアの行為は、核不拡散条約（NPT）に基づき各国が50年以上核軍縮に取り組んできたNPT体制を無力化してしまいかねないものであり、断じて容認できるものではない。

私たち長崎市民は、人類が二度と同じ過ちを繰り返さぬよう、「長崎を最後の被爆地に」と訴え続けてきた。決して、ウクライナに長崎・広島と同じ悲劇を起こしてはならず、そして地球上に、第三の戦争被爆地を生むことはあってはならない。

ここに被爆地長崎の市議会として、核の威力を背景としたウクライナへの侵略に強く抗議するとともに、ロシア軍が即時にかつ無条件で撤退するよう、国際法に基づく対応を強く求める。

また、政府においては、唯一の戦争被爆国として、核兵器による惨禍を再び繰り返さないよう、積極的に国際社会と連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対する万全の措置を尽くしていただきたい。

以上、決議する。

2022年3月1日

長崎市議会